

# 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

|      |             |
|------|-------------|
| 学校番号 | 学 校 名       |
| 28   | 岐阜県立大垣桜高等学校 |

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 学校教育目標  | 1 人間としての在り方・生き方を考えさせ、人間性豊かな生徒を育成する。<br>2 専門的知識・技術を生かして、生活産業や地域社会に貢献できる生徒を育成する。<br>3 広く社会において、信頼と尊敬を得る社会性のある生徒を育成する。  |  |   |
| スクール・ポリシー   | 『育てたい生徒像』<br>グラデュエーション・ポリシー（GP）  | 『生徒をどう育てるか』<br>カリキュラム・ポリシー（CP）   | 『どんな生徒を待っているか』<br>アドミッション・ポリシー（AP）  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>確かな学力の定着と家庭・福祉の専門的な知識・技術を身に付けるために、自ら学び自ら考え、主体的に学習に取り組む生徒</li> <li>基本的な生活習慣を確立し、規範意識を身に付けて、正しく判断し、主体的に社会に貢献しようとする生徒</li> <li>望ましい勤労観や職業観を養い、職業人として必要な豊かな人間性と能力の伸長に努める生徒</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>規律ある生活態度を身に付け、自ら判断し行動できる態度の育成</li> <li>基礎的・基本的な学力の向上を図り、家庭・福祉の専門的な知識・技術を習得させ、一人一人の進路実現を支援</li> <li>家庭や地域社会と連携・協働し、安全で安心な学校づくりを推進</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身に付け、自ら学習環境を整えて充実した学校生活を送ろうとする生徒</li> <li>家庭・福祉の専門的な学習をとおして、自ら課題を見つけ、解決し、地域社会に貢献しようとする生徒</li> <li>情報モラルや規範意識の向上に努め、防災意識を高め、自分の命は自分で守るという強い意識をもった生徒</li> </ul> |
| 教育指導の重点<br>(今年度の具体的な重点目標)   | 重点目標の達成に必要な具体的取組、方策  |  | 達成度の判断、判定基準あるいは評価指標   |
| <b>1 主体的に高校生活を送ることができる態度の育成</b><br>自分で考え判断し実行できる能力の育成   | ① 基本的な生活習慣を身に付け、授業や特別活動等において、生徒自ら学習環境を整えて充実した高校生活を送ろうとする態度の育成に努めます。<br>② 各教科・科目の目標を踏まえた工夫ある授業の実践により、生徒自ら考えをまとめて発表できる学習活動を展開します。  |  | <b>①</b> 成績不振(2科目以上)者：各学年2人以下<br>遅刻者数：前年度比50%減<br>家庭学習時間：平日2時間、休日考査時4時間<br><b>②</b> 公開授業の活性化・授業参観、研修<br>学習指導にかかわる項目の回答：A B 90%以上  |
| <b>2 基礎的・基本的な学力の向上と専門的な知識・技術の定着</b><br>基礎・基本の習得への支援<br>思考力・判断力・表現力の育成<br>的確な進路実現への支援<br>効果的なICT活用 | ① 教科を横断した学習を推進し、生徒の興味・関心を高め、意欲的に学習に取り組めるよう効果的にICTを活用した授業を行います。<br>② 「地域の担い手総合戦略事業～地域資源を活用した専門的職業人育成事業」による教育活動を推進し、家庭・福祉の専門的な知識と技術を生かして、自分と地域の課題解決に主体的に取り組む指導方法を工夫します。<br>③ 基礎力診断テストやキャリアテスト等により、生徒自らが学習姿勢を見直し基礎学力を高めて進路実現に向けた指導を行います。面接指導を通してコミュニケーション能力を高め、教養とマナーを身に付けることができるよう支援します。 |  | <b>①</b> 基礎力診断テストの結果分析<br>キャリア教育取組体制の強化とD3ゾーン0%<br><b>②</b> コンクールへの挑戦・検定合格・資格取得<br>コンクール上位入賞<br>家庭科技術検定合格率90%<br><b>③</b> 進路実現<br>生活産業分野への就職率90%以上<br>卒業時の進路実現100%<br>図書館利用の活性化：前年度比20%増                      |
| <b>3 安全・安心な学校づくりの推進</b><br>地域連携活動の充実<br>自他の価値観を認め合う意識の醸成<br>自分の命を守る態度の育成                          | ① 地域や産業界との連携活動を推進し、実践的・体験的な学習活動により教育環境の充実を図ります。<br>② 情報モラルと規範意識の向上に努め、携帯電話・インターネット上のトラブルを防ぐとともに、適切に情報手段を活用するための教育支援に努めます。<br>③ 生徒一人一人に丁寧に向き合い、支援を必要とする生徒の早期把握と組織的な教育相談体制による支援を行います。<br>④ 防災教育、感染症拡大防止対策に関する意識を高め、「自分の命は自分で守る」ために主体的に取り組む生徒の育成に努めます。                                    |  | <b>①</b> 学校運営協議会委員等からの意見や評価による課題の明確化と適時・的確な対応<br><b>②</b> 情報モラルの遵守及び適切な使用<br><b>③</b> 生徒情報の組織共有と迅速対応<br><b>④</b> 命を守る訓練の実施状況<br>防災意識向上シートの記入状況の変化<br>交通事故件数：前年度比30%減<br>ヘルメットの積極的な着用                          |